

経営比較分析表（令和6年度決算）

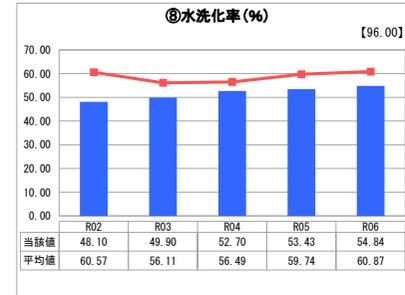
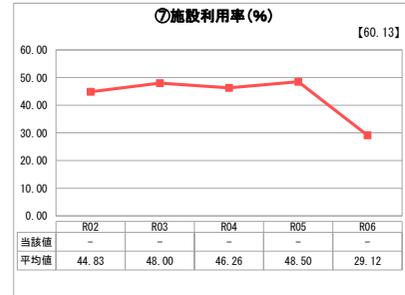
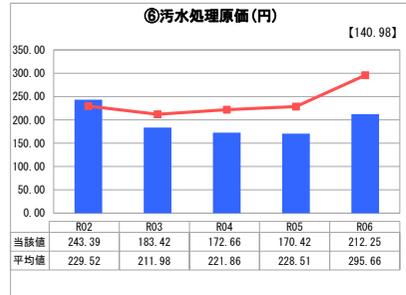
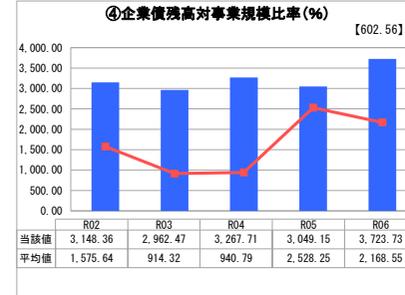
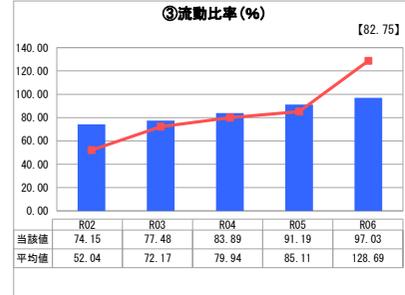
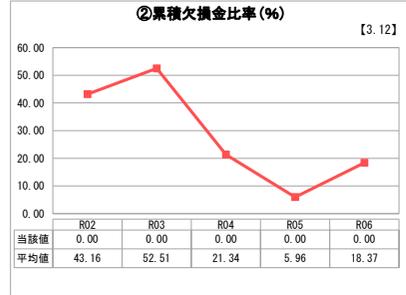
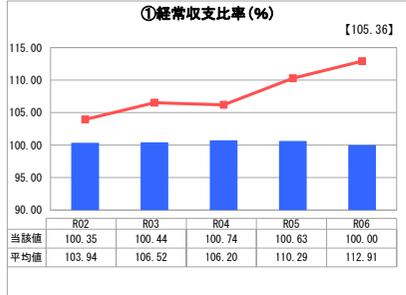
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	45.04	14.54	100.00	2,167

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,530	29.18	1,046.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,420	1.54	2,870.13

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
 ほぼ例年通りの水準である。平均値を下回っているが、100%である為、経営は概ね健全であると考えられる。

②累積欠損金比率
 累積欠損金は発生しておらず、健全な状況と考えられる。

③流動比率
 下水接続数の増加により収入は増加傾向である。流動比率100%以上を目指し、今後も接続率を増加させていく。

④企業債残高対事業規模比率
 平均値よりも高い為、引き続き接続率の向上、経営の健全性確保に取り組んでいく。

⑤経費回収率
 費用の増加により前年度に比べ減少した。類似団体の平均値よりも高い水準だが100%を下回る為、今後適正な使用料設定や経費の削減の検討が必要となる。

⑥汚水処理原価
 費用の増加に伴い、前年度より増加している。今後も効率化含め、費用の縮減等経営の健全化を図っていく。

⑧水洗化率
 前年に引き続き接続数の増加により指標も増加傾向である。水洗化率の向上は収益の向上に直接結びつくため、啓発活動等を通じて公共下水道への加入を即し、更なる接続率の向上を図る。

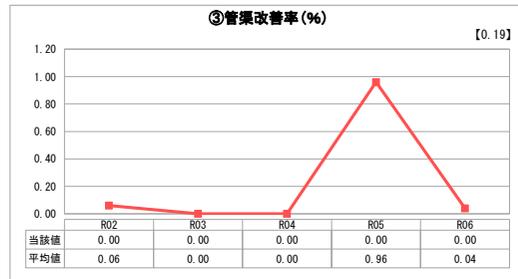
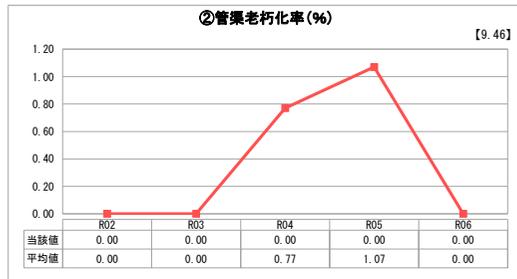
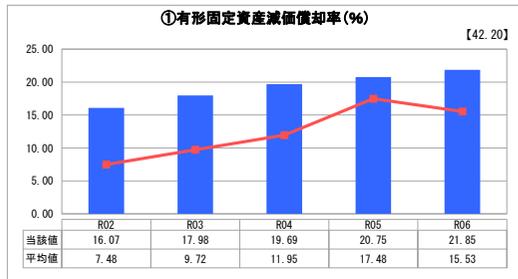
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 資産の老朽化が進んでいるが、更新工事を行っていないため今後も上昇傾向となっていく見込みである。

②管渠老朽化率
 管渠工事はH7年度からの実施であり耐用年数を超える管渠は無く0%となっている。

③管渠改善率
 更新が必要な管渠が現状ないため更新は行っておらず、0%となっている。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性・効率性については、経常収支比率が100%以上で推移しており、概ね健全であると考えられる。

しかしながら、短期的な支払い能力の不足・経費を使用料で賄えない等の課題がある。特に流域下水道の維持管理負担金の値上げに伴う、適正な使用料収入の確保といった経営改善の検討が求められるほか、引き続き健全な財政運営を行っていくため、経費の効率化などの取り組みが必要であると考えられる。

また、今後は下水道計画の早期完成を目指し計画的な整備を行っていくとともに、管渠の老朽化への対策についても、将来の更新需要に備え、現行の整備事業と並行して計画的に事業を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。